

日本溶接協会の活動方針(2017年度制定) 実施状況

2021年5月19日

一般社団法人日本溶接協会

項目

1. 認証事業のサービス・品質向上と効率化で一層の資格普及を図る
2. 広報を拡大し溶接のイメージアップを図る
3. 溶接技能者不足に対し人材取り込みを図る
4. 溶接教育を拡大し技能伝承と溶接品質向上を図る
5. 専門部会・研究委員会の活動が少ない分野(建築業界等)への取り組みを強化、そのニーズを把握し対応を図る
6. 学・協会の共同事業で活動の幅を広げ産業界のニーズに応える
7. 日本溶接協会の活動方針実施計画(2017年度制定)フォロー
8. 会員構成

1. 認証事業のサービス・品質向上と効率化で一層の資格普及を図る

- ◆ 認証システムの高度化による受験者サービスの向上
- ◆ 認証システムの高度化による品質向上と事務作業の効率化
(コンプライアンスの強化)

溶接技能者認証システムのWeb申込み化(e-Weld)

- システム構築作業に着手(2018年1月)
- モックによる全国の指定機関ヒアリング実施(2019年9月～)
- プロジェクト体制強化(2020年8月)
- 受験申し込み手順の簡素化を先行して導入(2020年9月)
- 2021年11月に部分立ち上げ予定(14ヶ月遅れ)

WE溶接管理技術者認証システムのWeb申込み化

- 2022年度中の立ち上げを目指す

- ◆ アジアを中心とした溶接管理技術者認証制度の海外展開

- 台湾でWE認証を開始(日本海事協会の支援)(2017年5月)
- ベトナムでWE認証の準備(大阪大学接合研の支援)(2020年)
- JIS溶接技能者認証のアジア拡大事業FS実施(経済産業省の支援)(2020年)

1. 認証事業のサービス・品質向上と効率化で一層の資格普及を図る 溶接技能者システム高度化と試験手数料制度の見直し

- 指定機関に新ビジネスモデルへの移行を促す制度とする
 - ◆ e-Weld 導入で指定機関の手間を大幅に軽減する
 - ◆ 試験事業の合理化努力をお願いし、創出した余力で教育ビジネスを展開
 - ◆ サステイナブルな認証事業を確立する

- 若年者取り込みに関する指定機関への追加支援
 - ◆ 工業高校における溶接教育支援、活性化で溶接技能者不足解消の一助とする
 - ◆ 高校生ものづくりコンテスト全国大会の溶接部門の支援を強化する
 - 工業高校への溶接機の寄付を開始する
 - (公財)溶接接合工学振興会で2020年度から開始
 - 工業高校への溶接教育実施への支援
 - ものづくりコンテスト県大会への支援
 - ものづくりコンテスト地区大会への支援

2. 広報を拡大し溶接のイメージアップを図る

◆ 溶接技術・技能のすばらしさと重要性の一般社会への訴求

- 日本溶接協会マイスター制度創設(2019年11月)
- 厚生労働省との連携でAKB48チーム8とコラボ(2020年11月)

◆ 広報ツールの作成

- 一般向けコミック「現場からお伝えします」第2巻刊行(2018年4月)
- 動画「Future on the Legacy 日本溶接協会の歩みと未来」製作(2019年11月)
- YouTube動画「鉄骨Female」製作(2020年3月)
- 資格説明コミック「溶接女子が行く」刊行(2020年9月)

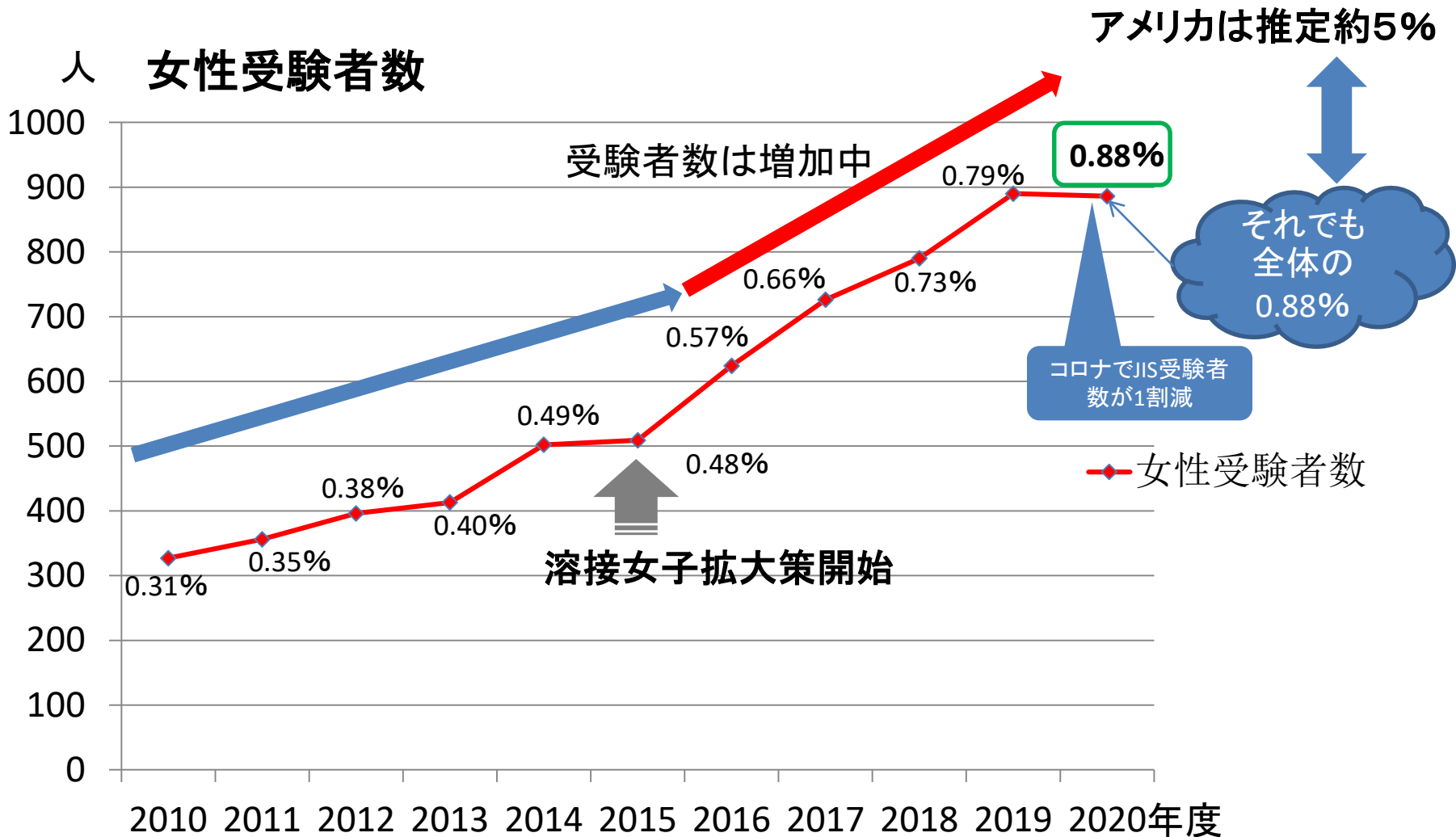
◆ メディアやイベントの活用

- Webページ「溶接女子会」がNTSプライムニュースで紹介される(2018年4月)
- 東京ウエルディングショーでVRシミュレータ「未来体験コーナー」を設置(2018年4月)
- Webマガジン「GEMBA」で溶接女子対談(2020年4月)
- テレ朝チャンネル1「AKB48チーム8のあんた、ロケロケ！ターボ」
「はまちゃんの溶接道」のロケに協力(2020年11月)
拡大版をYouTubeに配信

3. 溶接技能者不足に対し人材取り込みを図る

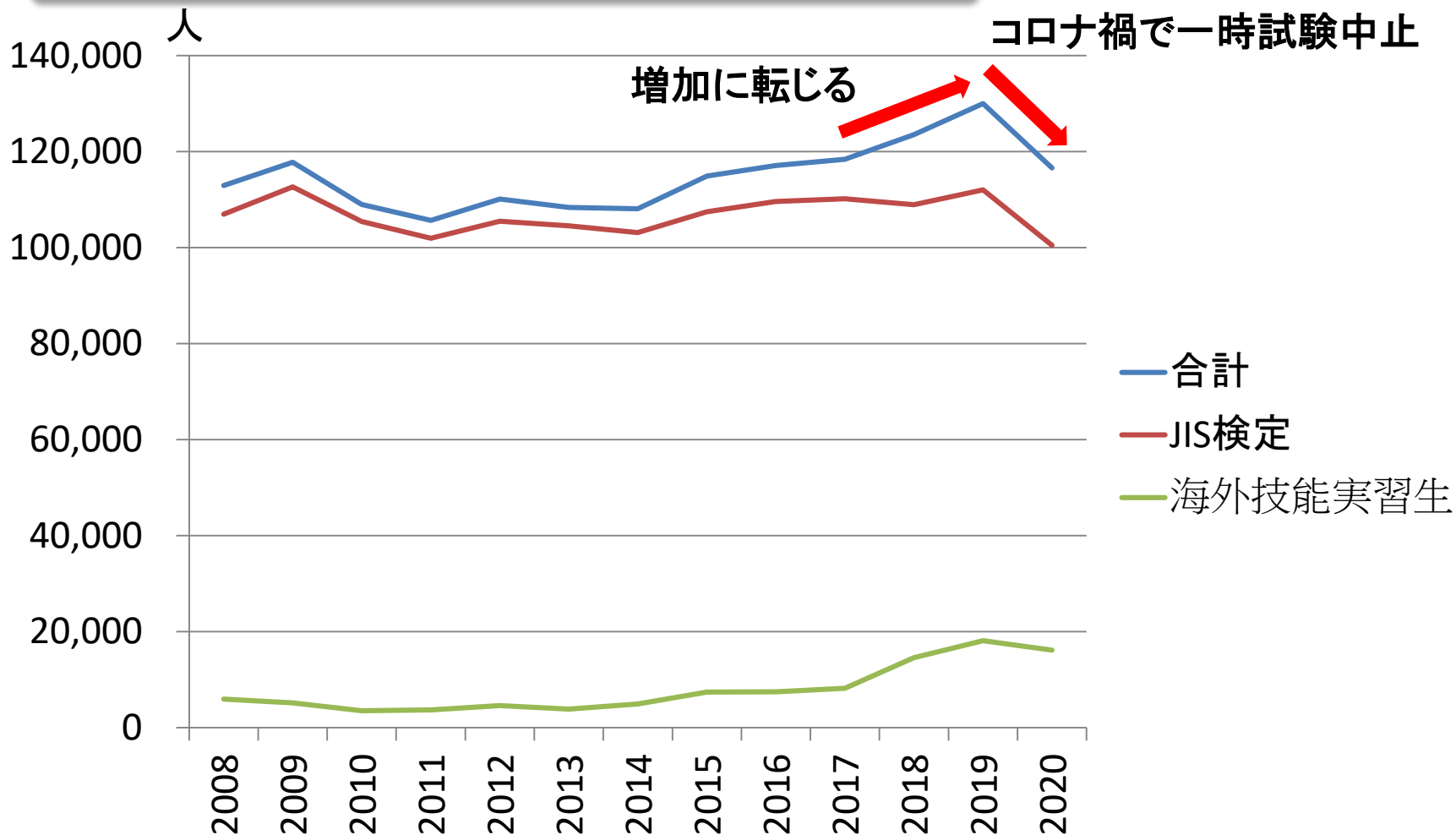
- ◆ 溶接女子を増やして就労人口の減少を補う
 - 0.88% (2020年11月) ← 0.48% (2015年度)
- ◆ 若年者へ溶接の魅力を発信する
 - 溶接体験コミックの製作と活用
 - シミュレーションとDIY体験を通じた若年者へのアプローチ
- ◆ 高校生の溶接競技会を支援し溶接の普及を図る
 - 高校生ものづくりコンテスト全国大会溶接部門決定
2020年にエキシビションとして8種目(コロナ禍で順延)
高校生ものづくりコンテストの助成制度を開始(2020年度～)
 - 溶接機寄附事業を開始(2020年度～溶接接合工学振興会)
- ◆ アジアの国を対象としJIS溶接技能者認証を拡大する
 - アジアへのJIS検定普及のためのフィージビリティスタディー開始
JIS規格に基づく溶接技能者の資格認証システムの東南アジア各国への導入と普及(2020年度経済産業省事業を受託)

3. 溶接技能者不足に対し人材取り込みを図る JIS溶接技能者評価試験 女性受験者数の推移

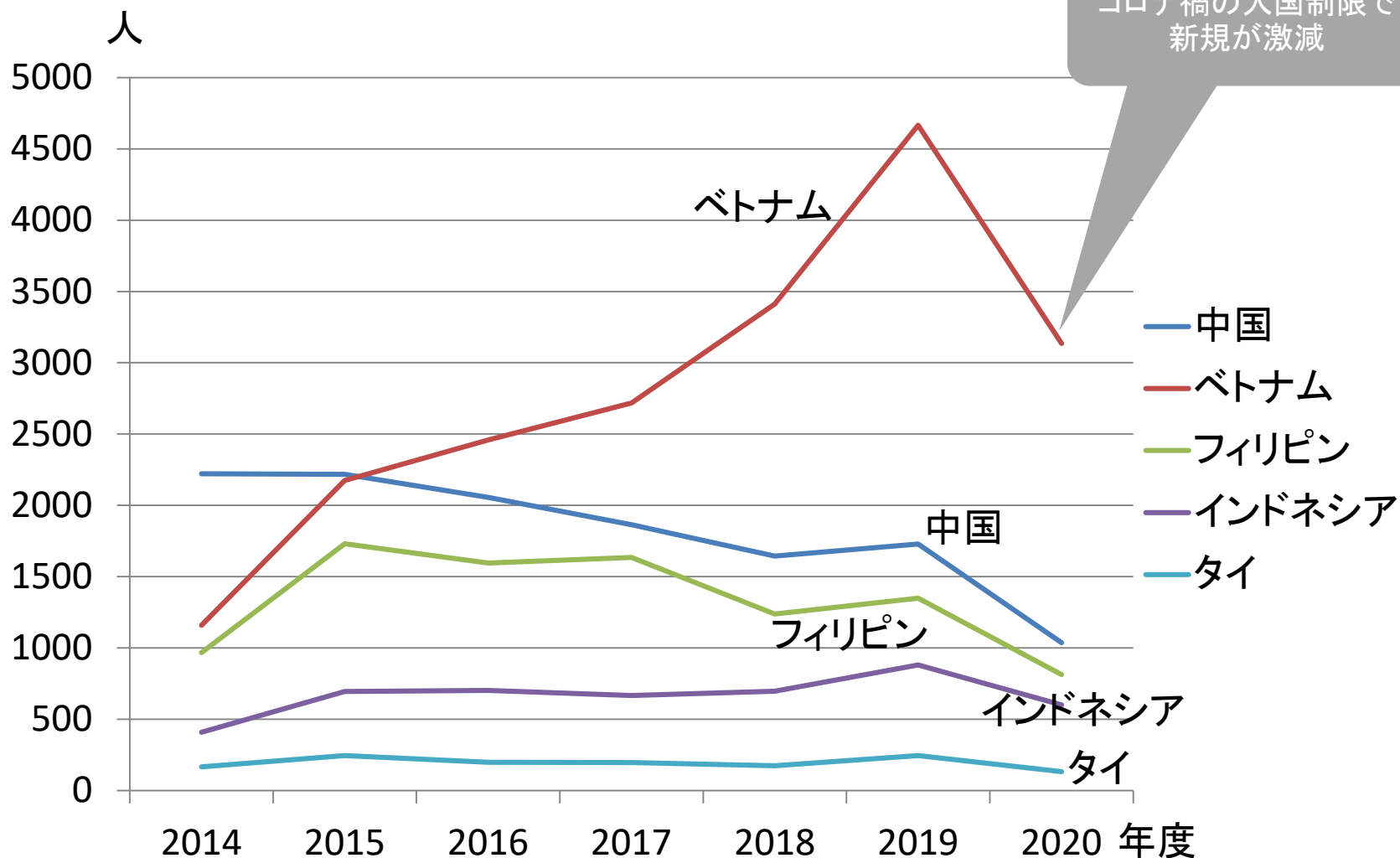


3. 溶接技能者不足に対し人材取り込みを図る 技能実習生を含む受験者総数

溶接技能者＋海外技能実習生（溶接技能者）



3. 溶接技能者不足に対し人材取り込みを図る 外国人技能実習生の国別受験者数 初級新規受験者数



4. 溶接教育を拡大し技能伝承と溶接品質向上を図る

◆ 地方の溶接研究・教育の活性化

- 次世代を担う研究者助成事業を継続的に実施(2020年度第7回募集)

◆ 溶接技能者教育事業の開始と普及

- 初心者導入教育開始(2017年～)
- 実技・学科各1日(学科はJIS学科試験免除あり)
- 専門家教育開始(2018年度～)
- 厚生労働省「中小企業等担い手育成支援事業」「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」

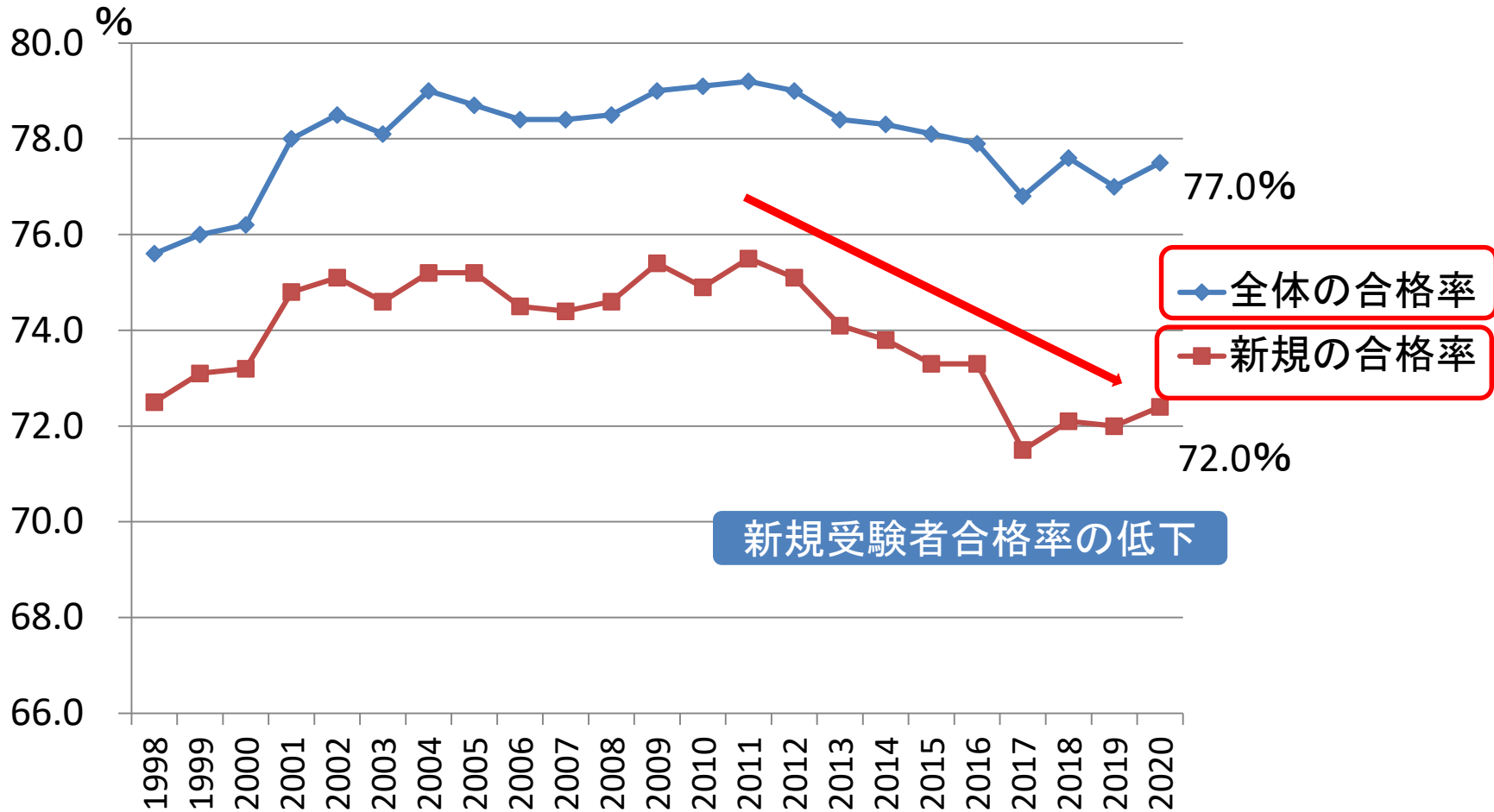
◆ 技能伝承の強化

- 日本溶接協会マイスター制度を開始(2019年度)
- 日本溶接協会マイスター等を対象に講師講習会を開始(2019年)

◆ 溶接基礎教育の開始

- 溶接基礎教育講習会を開始(2018年度)
新規入会のゼネコン各社を中心とした建築業界向け

4. 溶接教育を拡大し技能伝承と溶接品質向上を図る 溶接技能者試験の合格率



5. 専門部会・研究委員会の活動が少ない分野(建築業界等)への取り組みを強化、そのニーズを把握し対応を図る

◆ 上記基礎教育と技能者不足への対応支援

- 大手ゼネコン5社が入会

建設部会の再編と活動方針を検討中なるも前項の教育を開始

- 自動車部会の活動を再構築

企業の情報共有を軸とした活動から産学連携を目指した共通基盤技術開発を軸とした活動に転換中

6. 学・協会の共同事業で活動の幅を広げ産業界のニーズに応える

◆ 学・協会連携のプラットフォーム構築(JIW)

- JIW理事会を改組し最低年2回開催(2016年12月～)

◆ 学・協会の共同事業内容の決定(JIW共同企画委員会)

- JIW共同企画委員会を組織し共同企画の検討開始(2017年2月～)

◆ 活動内容の選定(アウトリーチ、イノベーション、AI等)

– アウトリーチ

- 自動車、建築は前項の通り活動を開始
- 2018東京国際ウエルディングショーで連合講演会と未来体感ブースで連携

– イノベーション

- 3D積層造形技術委員会を立ち上げ(2020年度 34社が参画)

◆ 部会・研究委員会からの体系的な新しい技術の発信

- 安全衛生・環境委員会で厚生労働省「溶接ヒューム規制」に関し説明会開催(2020年12月) HPに説明会配布資料やフィットテストの実演動画等を掲載
- 3D積層造形技術委員会でオープンセミナー開催(2021年1月)

◆ 溶接情報センターをより積極的に活用し情報発信活動の推進を図る

- 溶接情報センターHPを刷新(2021年度第1四半期内を予定)

7. 日本溶接協会の活動方針実施計画フォロー

○中 : 途中順調

○中 : 途中遅延

2017年度

2018年度

2019年度

2020年度

認証事業のサービス・品質向上と効率化で一層の資格普及を図る

広報を拡大し溶接のイメージアップを図る

溶接技能者(WO)不足に対し人材取り込みを図る

溶接教育を拡大し技能伝承と溶接品質向上を図る

活動が弱い分野(建築業界等)への取り組みを強化、そのニーズを把握し対応を図る

学・協会の共同事業で活動の幅を広げ産業界のニーズに応える



1年以上遅れ
2021年11月
部分立上げ

2021年11月
に全国大会

8. 会員構成（2021年3月末現在）

団体会員数の推移

